

お役立ちレポート

補助金レポート

1 木造建築のすすめとは？

補助金・融資制度を活用した木造建築をお考えの方へ

日本は、国土の約2/3を森林が占める世界でも有数の森林国です。

国内の森林の約4割がスギやヒノキなどの人工林であり、現在、その大部分が利用期を迎えています。

適正な森林整備を進めていくためには、国産材の積極的な利用を促進していくことが重要です。

一方、国内の木造建築では、1～2階建ての戸建てやアパートなど、従来、小規模な住宅建築に採用されてきましたが、特殊な設計・施工ノウハウが必要となる非住宅や4階以上の高層階住宅ではほとんど採用されてきませんでした。

今後、国産木材を有効に活用し、森林資源の循環利用を図ることが求められます。

地球温暖化防止や国土保全などといった森林の公益的機能の発揮、林業・木材産業の振興を通じた地域経済の活性化にもつながります。

また、「持続可能な開発目標(SDGs)」への対応、環境や社会、企業統治を重視する「ESG投資」の拡大などを背景に、環境や社会への貢献度が企業価値を左右する時代が訪れており、持続可能な木材利用を経営戦略に上手に取り込むことに注目が集まっています。

本レポートでは、木造建築をご計画の方向けに、お得な補助金・融資制度など、お役立ち情報をご紹介します。

公共施設のほか、医療・福祉施設、保育園・幼稚園、商業施設、工場・倉庫まで広く活用できる補助金・融資制度となっています。ぜひ、本書をご活用いただき、木造建築にチャレンジしてみただけますと幸いです。

2 知って得する木造建築の補助金・融資



国の補助金制度って何があるの？

木造建築に関する補助金制度は、**省庁を中心に実施**しています。

国の補助金制度の場合は、**申請前の事前審査が必要**となります。また、**審査基準も厳しく、認定までに時間がかかります**。

公募期間が終了している場合でも、翌年度以降の公募が実施される場合があります。

No.	国の 補助金・融資名	主管省庁	概要
1	林業・木材 産業循環成長対 策（うち木造公 共建築物の整 備）	農林水産省 林野庁	地域材の利用が必須 整備個所の都道府県交付金事業計画に含ま れるものが対象 https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kouzoukaizen/koufukin2.html
2	林業・木材産業 循環成長対策（特用林産振 興 施設等整備）	農林水産省 林野庁	森林組合、農業協同組合 補助率：1/2以内 https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kouzoukaizen/koufukin2.html
3	高性能林業 機械等の導入（うち効率化施 設及び活動拠点 施設）	農林水産省 林野庁	森林整備法人等、選定経営体 効率化施設整備： 1/2以内 https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kouzoukaizen/koufukin2.html
4	森林・林業・木 材産業グリーン 成長総合対 策のうち 林業・木材産業 循環成長対策（う ち木材加工 流通施設等の整 備）	農林水産省 林野庁	木材加工流通施設等 の整備を支援するもの https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kouzoukaizen/koufukin2.html
5	林業・木材 産業循環成長対 策（うち木質バ イオマス利用促 進施設整備）	農林水産省 林野庁	地域に賦存する木質バ イオマスの総合的かつ計 画的な利活用のため に必 要な施設であること https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kouzoukaizen/koufukin2.html
6	木材産業の輸出 促進・体質強化 対策	農林水産省 林野庁	木材製品の 高付加価値化に向 けた木材加工流通 施設等の整備を支 援 https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4hosei.html

（出典）林野庁建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧（<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuzozigyoku.html>）